

市議会 だより

令和4年12月定例会報告

鶴ヶ島市議会

市民からも、 議員に近づいていかなければ・・・



鶴ヶ島市ラジオ体操連絡会にインタビュー

目次

特集 学校はいま	2
市の考えを問う 一般質問	4
12月定例会報告	12
委員会審査 (条例等)	13
委員会審査 (補正予算)	13
◆一般会計・特別会計	
市民・団体インタビュー	16

学校はいま

くみんなで考え、
みんなで答えるく
学び合い学習



市内の小・中学校を 議会議員が訪問

令和4年10月から11月に
かけて、市内小・中学校の
公開授業を見学しました。
その一部を紹介します。



小学3年生の外国語活動の授業。ALT（外国語指導助手）による正しい英語の発音を低学年のうちから学んでいきます。この後、アルファベットを使った「ビンゴゲームをやりま〜す！」の声に、児童たちは大喜び。



体育の授業にタブレット端末を活用。運動会で発表する踊りの練習です。クラスメートの姿をタブレット端末で撮影し、出来栄えをチェック。タブレット端末は体育の授業でも効果を発揮しています。



小学5、6年生の算数の授業。クラスを2つに分けて、半分の人数でそれぞれ授業を行い、少数による、より細やかな指導がなされています。



学び合い学習にタブレット端末を使いながら、グループワーク。誰もが自分の意見を発言しています。これから世界に出て行く次世代に不可欠なスキルです。



ずっと続けてきた生徒会の挨拶運動は、楽しい学校づくりにつながっています。先生たちの知恵と工夫による、学び合い学習で得られる学ぶ楽しさ、わかる喜びは、未来につながる力になるでしょう。



学校の教育目標が「心を磨く 本気で学ぶ 心身を鍛える」。伝統的にスポーツが盛んな学校。体育館では、女子生徒が体育の授業で柔道。投げ技に見事な受け身！文武両道ここにあり！



学校は仲間とともに学ぶ場所。4～5人が机をつなげてグループになり、先生の質問にみんなで考え、みんなで答える。わからない生徒も仲間がサポート。生徒が皆、生き生きと授業を受けています。



理科の授業で顕微鏡を囲み、活発な意見交換がされています。また、タブレット端末を活用した数学の授業では、デジタル教科書のおかげでグラフが動画で示され、理解しやすいです。

鶴ヶ島第二小学校長 山本享先生



鶴ヶ島第二小学校では、「学力向上研究」学び合い学習の推進」の授業での取組や学習者用PC端末を活用した欠席児童へのリモート授業などを行っています。

子どもたちや先生方の授業に一生懸命臨む姿、PTA活動、学校応援団や地域支え合い協議会の皆さんの活躍などもあり「鶴ヶ島市は子育て世界ナンバーワン」だと思っています。

とても協力的な保護者・地域の皆さん、子どもたちの教育活動に手厚い支援スタッフの先生方などに、感謝の気持ちでいっぱいです。

富士見中学校長 小野塚祐一先生



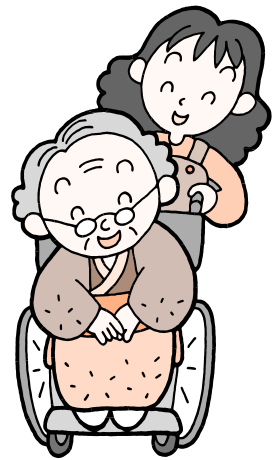
富士見中学校は、生徒が授業や行事などに真剣に取り組み、とても落ち着いた学校生活を送っています。特に三年生の頑張りが見え、一・二年生がそれに憧れ、三年生をお手本にしています。

私は初めて今年度から本市で勤務しておりますが、学習支援員やスクールサポートスタッフなど、学校への人的支援が充実しており、恵まれた環境に驚いています。また、保護者や地域の方々が協力的で、生徒や教職員を支えていただいていることに日々感謝しております。

校長先生からの一言

市の考えを問う 一般質問

12月7日・8日・9日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



Q 介護保険改正にどう 対応する

おおた 太田 ただよし 忠芳 議員



A 元気な高齢者を増やし、適正なサービスの整備をしていく

問 厚生労働省社会保障審議会介護保険部会では、「利用料2割や3割負担の対象拡大」など、「給付と負担」に係る7項目が議論されている。

問 総合事業に移行された要支援1、2認定者の影響は。

答 既存の事業所が総合事業の指定を受けたため、利用者、事業者ともに大きな影響はない。令和3年度からは、生活援助を中心とした基準緩和型訪問サービスをシルバー人材センターに委託した。

問 要介護1、2の認定者の介護サービスの実態は。

答 この介護度の認定者数が大変多く、中には認知症の症状の方もいる。通所サービス、訪問ヘルパーサービスが多く、福祉用具なども利用している。

問 利用料負担割合が2割負担、3割負担となった影響は。



問 利用者数などに特段の変化が見られず、影響はなかったものと考えます。

問 利用料の支払いが困難でも利用は減らせないと、退所できないという事情もあると思うが。

答 相談では、個別の事情に丁寧に対応している。

◎その他の質問 マイナンバーカードを健康保険証に変えるかどうかどうなる

問 コロナ下、子どもたちはマスクの着用、友達の家との行き来、行事の中止、給食の黙食などが続いている。常にマスクで顔が見えないこともコミュニケーション不足の一因となり、不安やストレスを抱えている。国県から、マスクの着脱、給食時に黙食を求めないなどの通知が出ている。子どもたちや保護者の意志を尊重するためにも、

問 学校生活での声がけや先生方、保護者及び地域の方への理解を広げるべきではないか。

答 本市が取り組んでいる「学び合い学習」は、子どもと子どもをつなぎ、授業を通して子どもたちのコミュニケーション能力を育成していると捉えている。小学校では、体育や休み時間の外遊びなどの場面ではマスクを外すことを声かけしている。マスクの着用は、児童・生徒、保護者の意向を尊重し、それに伴うリーフレットを学校に配布して周知している。

保護者には、保護者向け情報発信ツールを使って周知し、地域の方に向けては、自治会回覧の準備を進めている。

◎その他の質問

一 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの取組

二 認知症バリアフリーの取組

Q 子どもたちに顔が見える日常を取り戻す

おおの 大野 ひろこ 洋子 議員

マスクの着用は児童・生徒、保護者の意向を尊重



Q 公共施設の再編、 長寿命化について

おがわ
小川 茂 議員



A 施設の老朽化対応のため、 再編や再配置で長寿命化

問 西中学校の再利用に関する西部地域への周知、対応などは。

答 令和5年度から6年度に、西中学校の再利用に関する基本構想の策定を進める。5年度は、策定に伴う説明会などにより、西部地域を含めた市民全体へ周知を図る。

また、アンケートやヒアリングを実施することで、市民意見を基本構想に取り入れていく。

問 北市民センターへのエレベーター設置は。

答 施設の老朽化に伴い、優先度の高い改修なども多くなっている。今後、市民センターをはじめ、多くの公共施設で大規模改修などが予定されている。

問 北市民センターの利便性の向上については、地域や利用者の声を聞きながら検討していく。
問 海洋センター機能の移転と



西中学校

利用者への周知・対応は。

答 海洋センターの窓口業務を管理しているNPO法人鶴ヶ島市スポーツ協会を通じて、各種スポーツ団体の意見を聴取するとともに、海洋センターでの利用者アンケートを実施している。今後については、西中学校の再利用に関する基本構想策定の進捗に合わせ、様々な年齢層の利用者に届きやすい情報発信と丁寧な対応に努めていく。

Q 住民目線のデジタル 活用の推進について

こばやし
小林ひとみ 議員



A マイナンバーカードの交付率の 向上に今後も努める



問 マイナンバーカード普及のための取組は。

答 これまでに市民センターなどの公共施設、ワカバウォーク、ホームセンターなどの商業施設、産業まつりなどに出向き、出張申請を行っている。また、老人クラブの研修会や自治会などにも、要請があれば出向いている。今後も積極的に出張申請に出向いていく。

問 市独自の自治体マイナポイントの考えは。

答 マイナンバーカード普及のために有効と考えるが、今までに取得した方の対応をどうするかとの議論もある。今後、近隣自治体や国の状況を注視して

いく。

問 マイナンバーカードを利用して得られるサービスは。

答 マイナポイントが最大2万円ポイント付与される。その他、各種証明書をコンビニエンスストアなどで取得できる。また、インターネットで確定申告もできる。5年2月からは、来庁せずに転出手続きができ、転入予約ができるサービスを開始する。

◎その他の質問

一 学校再編には十分な保護者の理解を

二 9価HPVワクチンの定期接種化の対応について



化学物質による健康被害の現状と課題

いしづか せつこ
石塚 節子 議員



健康被害が少なくなるよう努力していく



様々な化学物質に反応する化学物質過敏症で、頭痛、倦怠感、筋肉痛、はきけ、喉の痛み、声が出ない、視覚障害、気力が出ないなど、様々な症状がある。周囲に理解されず、苦しい思いをしている人が大勢いる。また、自分にとっては快適な香りでも他の人には苦痛になったり体調を崩したりする化学物質もある。

問 市民への周知、啓発は。

答 この病気についての理解と当事者への配慮を多くの市民に、広報やホームページで周知する。

問 学校で体調不良を訴える状況は。

答 給食用エプロンの匂いに不快さを感じる生徒がいる。化学物質過敏症の症状は様々であり、適切に対応するために教職員が

理解を深めることが重要である。

問 「学校生活管理指導表」の活用について。

答 アレルギー疾患のある児童・生徒が安心安全な学校生活を送るため、毎年、配慮や管理などを希望する保護者に対して、学校生活管理指導表の提出を依頼している。

提出された学校生活管理指導表を基に保護者と面談を行い、具体的な対応などについて保護者とともに確認し、その後全教職員で共有している。



(仮称)「つるの駅」構想及びその周辺整備

うちの内野 嘉広 議員



道の駅以外の選択をしている

これから10年先、20年先も人が集まる場所として、じっくり腰を据えて、地元のために将来的にも長く使えるようないい施設を造っていただきたいということ

問 事業化に向けての現在の状況について。

答 食をテーマとする企業を誘

致することで、活気とにぎわい、そして憩いの場となる拠点の創出を実現するものである。企業の誘致に当たっては、市の考えに理解、同調して事業展開をしたい事業者から提案を受けている。現在は最終的な調整を行っている。

問 市が考えている(仮称)「つ

るの駅」のイメージは。

答 集客力のある商業施設と併せて、例えば、農産物の直売やカフェレストランなどの飲食ができる機能を持った、そういった形でのにぎわい、憩いの場を整備していきたい。

問 性急に事を運んでいるように感じる。道の駅という要素も検討するなど、じっくりと腰を据えてやるべき事業ではないのか。

答 市としては、地域の特性や状況などを勘案し、スピード感を持って対処する中で、企業誘致を選択した。



(仮称)「つるの駅」構想予定地

Q 市長公約である(仮称)
「つるの駅」構想の再質問

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



A 核となる商業施設を誘致し、
地域へ経済効果を波及させる

問 市長の選挙公約である(仮称)「つるの駅」構想の内容は。

答 鶴ヶ島グリーンパークから鶴ヶ島市運動公園にかけてのいわゆるグリーンパークエリアに憩いとにぎわいの場を創出することが(仮称)「つるの駅」構想である。運動公園とグリーンパークに挟まれた約3畝を事業の候補地として、企業立地を通じた食をテーマとする拠点づくり

問 は、取組の一つである。現時点での進捗状況は。

答 民間活力を活用することで質の高いサービスの提供や経営ノウハウなど魅力的な事業展開を期待し、現在、構想の考え方に理解、同調した事業者1社と最終的な調整を行っている。
問 農産物の直売所では経営が成り立つとは思えないが。
答 農産物の直売所だけで経営



(仮称)「つるの駅」構想予定地

していくということだけでなく、核となる商業施設を誘致し、付随した幾つかの建物の中に直売所も考えられるというものである。全体の中で採算性は取れる形を事業者は見込んでいると思っている。集客力のある施設があることで、鶴ヶ島の野菜、その他の加工品の売上げを伸ばしていく。それによって、農家の方も頑張っていただけだと考えている。

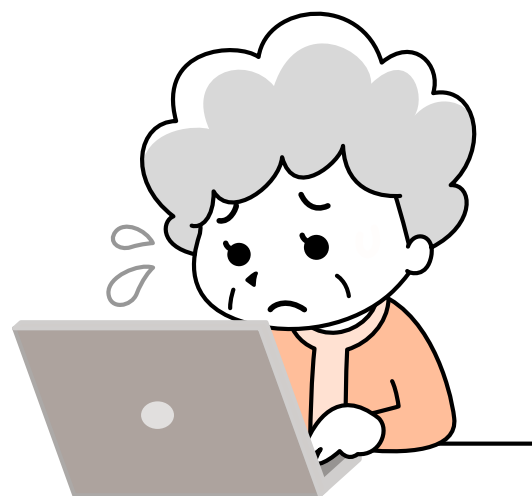
Q デジタル社会における
高齢者対応

かないずみ ふ き こ
金泉婦貴子 議員

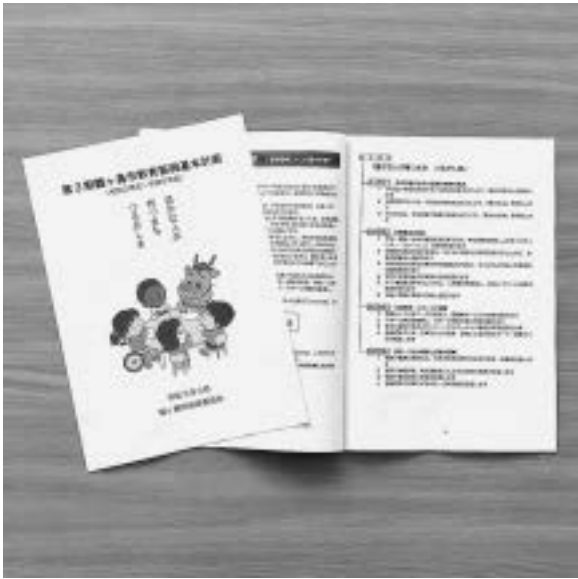


A 高齢者への支援は必要不可欠
である

問 国の勤めるマイナンバーカードと健康保険証の一本化について。
答 メリットは、住所変更などの際に保険者の手続が完了次第、医療機関などを利用できる。また、薬剤情報などの提供で病気の早期発見などにつなげられる。
問 高齢者向けのスマートフォン教室等の状況について。
答 デジタルを活用した健康づくり推進のため、シルバースポーツの普及とスマートフォンによる相談を一体的に取り組んでいる。高齢者へのデジタル活用支援は必要不可欠であり、今後も多くの高齢者がデジタル化によるメリットを受けること



問 ができるよう支援の充実を図る。
問 行政サービスの状況について。
答 現在実施しているサービスには、ワクチン接種予約、マイナンバーカード交付予約、施設予約、証明書のコンビニ交付などがある。今後は、引越しワンストップサービス、共通納税などを予定している。デジタル化により、業務効率の向上と行政サービスの利便性向上に取り組む、スマート自治体への転換を目指す。
◎その他の質問 庁舎内の食堂の活用について



第3期鶴ヶ島市教育振興基本計画の冊子



本市における特別支援教育の方針

もちだ 持田 やすあき 靖明 議員



総合計画の「子どもにやさしいまちづくり」につながっていく

問 通級指導教室には、保護者の送迎が必須となるが、そのために、通いたくても通えない状況があることについて。

答 支援が必要な子どもたちに支援が行き届くようにすべきである。各学校で通級指導教室が開設できるよう取り組みたい。

問 スクールカウンセラーや学級運営補助員の配置について。

答 近隣市町と比べ、多くの人員を配置している。今後も各校の状況に応じて検討していく。

問 スクールカウンセラーが行う検査が15件、年度内に実施できなかつた状況を考えると、スクールカウンセラーは足りてないのではないか。

答 他市に比べ多くの勤務日数を確保している。教育委員会と

しても、必要な支援を届けたいという思いはある。今後、検討していきたい。

問 小学校入学前を含めた早期発見・早期支援の必要性は。

答 小さな頃から発言や行動に対して叱られたり、合わない環境で我慢を強いられたりすることは、大きなストレスを感じると思われる。これが自己肯定感の低下や生きづらさとなり、気分の落ち込みなどの二次障害につながる。特性を持つ子どもへの早めの支援が必要である。



結婚・出産・子育てサポートの完結を

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



結婚支援の取組を多くの市民へ認知に努め、結婚、出産を後押しする

問 3年度の婚姻数と出生数は。婚姻数は598件、出生数は411人である。10年前と比較して婚姻数は102件、出生数は141人減少している。

答 出生対策の現状と評価は。

問 高額な治療費の負担軽減のため、早期不妊検査費及び不妊治療費の助成を行っている。3

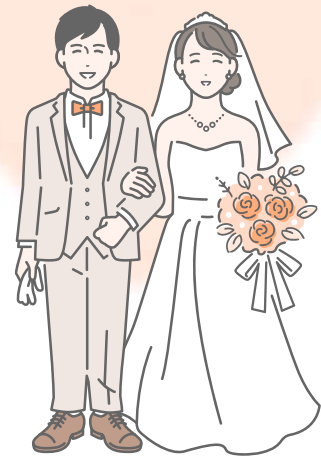
年度に助成を行った45件中21件が妊娠に結びついた。

妊娠期においては、妊娠届が提出された際に全ての妊婦と保健師や助産師が面談を行い、心身の健康状態や生活の状況などの把握に努めている。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポート体制を整えていく。

答 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点の機能を有する相談支援体制を整えてきた。一時預かり、病児保育などの保育サービスや保育環境の充実を進めている。また、子育てガイドブックや市ホームページにすくすく子育てのページを開設し、周知を図っている。

問 結婚支援策のお考えは。

答 男女の出会いの機会を創出するため、市単独ではなく、広域的な取組が効果的である。結婚支援策は短期間ではなく、継続的な取組が必要である。



Q 校則の見直しについて

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 子どもたちの意見を聞きながら進めたい

問 理不尽なルールを頭から押しつけることは子どもの思考力を奪うことになるのでは。

答 子どもたちが自ら考え判断する力の育成が必要となる。校則の見直しも、貴重な機会の一つと捉えている。

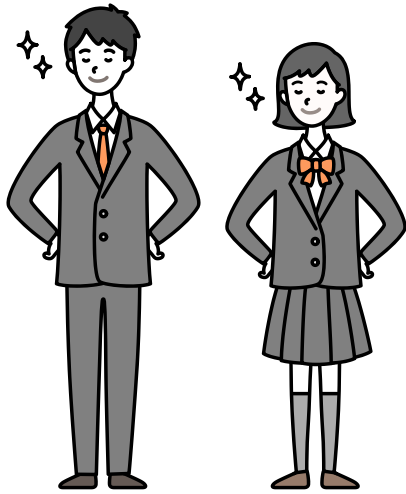
問 髪型などの男女別の規定は、「男・女らしさ」の押しつけで時代に即していないのでは。

答 校則により、植え付けてし

まっている可能性を認識し、子どもたちにとってより良い校則を考えていく必要がある。

問 教員の価値観をアップデートするには、教育以外の様々な現場を見る必要がある。教育以外の時間的余裕が要る。校則の見直しには教員の働き方改革が併せて必要では。

答 働き方改革を進め、教員同士が話し合う時間などを確保し、



その成果を子どもたちに還元できるよう努めていきたい。

問 (仮称)西部中学校について、子どもが主体的に関わって校則づくりを。

答 子どもたちの意見を聞く機会を設けながら進めていきたい。

◎その他の質問

一 多様な働き方が実現できるまちづくりについて

二 国民保護に関する市の対応について

Q 個別避難計画について

まつお たかひこ
松尾 孝彦 議員



A 本市に合った個別避難計画の作成を推進していく

問 本市における個別避難計画の作成状況について。

答 令和4年10月31日現在の個別避難計画の作成者数は236人で、避難行動要支援者の名簿登録者数は1403人、作成率は16・8割である。個別避難計画は、日頃から地域に携わっている鶴ヶ島市社会福祉協議会が実施している心と心をつなげるネットワーク活動、通称「ここのなネット」と協働して、作成に取り組んでいる。

問 今後の取組と課題について。

答 課題として、避難行動要支援者への支援者の高齢化に伴う人手不足がある。地域で防災活動を行う自主防災組織などとの

連携も検討していく。

また、避難行動要支援者は、要介護度の変更や介護施設への入所などによる生活状況の変化も多く、避難行動要支援者名簿の適時の更新も課題である。現在は、手処理で名簿の更新を行っているが、今後はシステムの導入を予定している。今後も国の動向を注視しつつ、本市に合った個別避難計画の作成を推進していく。

◎その他の質問

一 防災教育の取組について
二 ゼロカーボン・ドライブへの対応について



鶴ヶ島第二小学校における総合防災訓練



長引くコロナ禍の影響について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



今後も高齢者の心身機能の維持向上に向けた事業を実施

問 高齢者の体力低下について。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、特に高齢者の心身機能の低下が懸念されている。令和3年度に高齢者実態把握調査を実施し、分析した結果、運動機能への影響は少なかったが、人との交流や外出する機会の減少がうつ傾向につながっている可能性があることが分かった。4年度からは、生きがいづくりや仲間づくりを促進するため、シルバーエスポーツの普及とスマートフォン利用支援を開始した。また、ラジオ体操やウォーキングに関わる事業も、大幅に拡充した。

答 今後も高齢者の状況を把握し、心身機能の維持向上に向けた事業を実施していきたい。



問 発熱時の対応について。

答 市民から、新型コロナウイルス感染症などによる発熱などの相談があった場合は、薬局やインターネットなどで検査キットを入手し自宅で検査する方法と、対面による医師の診察や検査、薬の処方を受ける方法の2通りの診療検査体制を、相談内容に応じて説明している。そのほか、埼玉県が設置している受診・相談センターや県民サポートセンターについても紹介している。



災害時の避難所等の運営について

ふじわら
藤原 建志 議員



避難所開設の考え方などをハザードマップに記載し、全戸配布

問 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所等の運営について。

答 「3密」を避けることが重要と考え、自宅に留まる在宅避難や親族、友人宅への避難を推奨している。また、避難所では、換気、間仕切りの設置、消毒の徹底などの感染症対策を行うほか、必要に応じて小・中学校の教室などに避難者を分散する。

問 女性の視点を生かした避難所等の運営について。

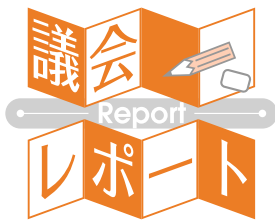
答 男性中心の避難所運営では、女性のニーズを把握しづらいため、女性の主体的な参画について啓発を行い、平時から男性の理解を得るなど、避難所運営に

問 わかりやすい防災情報の発信について。

答 防災行政無線、緊急速報メール、ホームページなどの方法で防災情報を発信している。



鶴ヶ島第二小学校における避難所開設・運営訓練



令和4年に開催した
議会の状況を報告し
ます

議会開催状況

会議	会期 (日)	本会議 日数 (日)	委員会日数(日)				傍聴 者数 (人)
			総産	文教	予決	つる の駅	
第1回臨時会	1	1	0	0	0	-	0
第1回定例会	29	7	1	1	3	-	24
第2回定例会	22	6	1	1	1	-	21
第2回臨時会	1	1	0	0	0	-	0
第3回定例会	27	6	1	1	3	-	31
第4回定例会	20	6	1	1	1	1	25
合計	100	27	4	4	8	1	101
会期外			0	0	0	1	0

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予決…予算決算常任委員会 つるの駅…(仮称)「つるの駅」構想
に係る調査特別委員会

議員提出付議事件 (件)

区分	議決態様別					計
	可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	
条例	1	0	0	0	0	1
規則	1	0	0	0	0	1
意見書	0	0	0	0	0	0
決議	1	0	0	0	0	1
その他	10	0	0	0	0	10
計	13	0	0	0	0	13

市長提出付議事件 (件)

付議事件別		議決態様別			
区分		可決	否決	継続審議	計
自治法第96条 付議事件	条例	21	0	0	21
	予算	26	0	0	26
	決算	6	0	0	6
	その他	13	0	0	13
自治法第179条(専決処分)		3	0	0	3
計		69	0	0	69

※「可決」には、認定、同意、承認等の議決を含みます。

A

時代に即して継続されるように
運営を支援していく

Q

自治会等の地域活動
団体の今後

たかはし
高橋 けんじ
議員

問 自治会や老人会の加入人数
・ 加入率の近年の推移は。
答 自治会加入世帯数及び加入率は、平成30年度が1万9184世帯で62・37割、令和4年度が1万8130世帯で55・64割、老人クラブは、30年度が1291人で5・57割、4年度が99

問 自治会からの脱退者の増加
率、高齢化や分母となる世帯数の増加のほか、生活様式の多様化や価値観の変化などにより低下傾向にある。
答 自治会からの脱退者の増加については、共働

問 団体の活動の在り方の見直しについての見解は。
答 自治会を例とすると、役員負担の軽減、運営の支援、活動の必要性の周知、活動の再開に向けた支援などを行っている。
問 団体の活動の在り方の見直しについての見解は。
答 会員の高齢化や生活様式の多様化、価値観の変化などを考えると、今後は、行事の見直しや運営のスリム化などの検討も必要になると考えている。時代に即して活動が継続されるよう、運営を支援していきたい。



つるがしま中央交流センターで行われた「くれよん朝市」

令和4年第4回定例会の日程（会期20日間）

11/24	本会議	開会 諮問第1号及び議案第53号～第66号 を上程
28	本会議	諮問第1号、議案第53号及び第61号 を採決 議案第54号～第60号及び第62号～ 第66号を委員会付託
29	総務産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会	付託議案審査
30	予算決算常任委員会	付託議案審査
12/7・8・9	本会議	一般質問
13	本会議	議案第54号～第60号及び第62号～ 第66号を採決 議案第67号を上程及び採決 (仮称)「つるの駅」構想に係る調査 特別委員会の設置を決定 議員派遣を決定 閉会

12月定例会

令和4年第4回鶴ヶ島市議会定例会
が11月24日(木)から12月13日(火)まで
の20日間の会期で開催されました。
本定例会では、市長提出議案16件を
審議し、子育て世帯物価高騰対策支援
臨時給付金給付事業に要する経費など
の補正予算を可決しました。
また、一般質問を3日間にわたり行
い、15人の議員が登壇しました。

令和4年第4回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ										大空・つるがしま未来	公明党	日本共産党	賛成 賛成せず				
				持田 靖明	小川 茂	杉田 恭之	高橋 剣二	金泉 貴子	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	近藤 英基	大曾 根英明	漆畑 和司	山中 基充	松尾 孝彦		小林 ひとみ	太田 忠芳	石塚 節子	大野 洋子
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	(根岸 芳子氏)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	教育委員会委員の任命について	(齋藤 薫氏)	同意に決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	鶴ヶ島市個人情報保護条例を廃止する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	鶴ヶ島市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	鶴ヶ島市議会議員及び鶴ヶ島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第6号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第7号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和4年度鶴ヶ島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和4年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算(第3号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	市道の路線の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	市道の路線の廃止について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第8号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会審査

条例等

議案第54号
鶴ヶ島市個人情報保護条例を廃止する条例について

個人情報保護の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人情報保護制度が法制度に一元化されるためのものであります。

議案第55号
鶴ヶ島市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年引き上げ等に関する、必要な事項を定める等するものです。

議案第56号
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

国家公務員及び埼玉県職員の給与と改定に合わせ、一般職の職員の給料月額及び勤勉手当の支給割合を改定するとともに、地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年の引き上げ等に関する、必要な事項を定めるものです。

議案第57号
鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

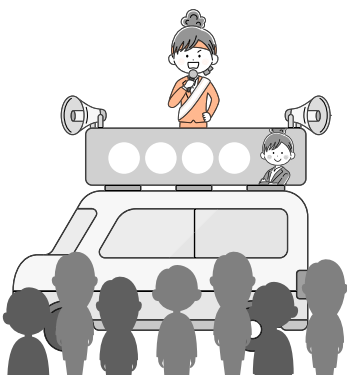
議会議員の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため支給割合を改定するものです。

議案第58号
市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

市長、副市長及び教育委員会教育長の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため支給割合を改定するものです。

議案第59号
鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について

都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則等の一部改正に伴い、低炭素建築物新築等計画の認定の申請に対する審査等に係る手数料の規定を改正等するものです。



議案第60号
鶴ヶ島市議会議員及び鶴ヶ島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の一部改正

に伴い、鶴ヶ島市議会議員及び鶴ヶ島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成に要する費用について、公費負担の限度額を引き上げるものです。

議案第65号
市道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定によるものです。

議案第66号
市道の路線の廃止について

道路法第10条第3項の規定において準用する同法第8条第2項の規定によるものです。



令和4年度の一般会計補正予算1件及び特別会計補正予算2件が可決されました。

一般会計(第7号)

庁舎維持管理事業

Q 電気料金の値上げ率は。

A 当初予算と比較すると、市役所庁舎の電気料金は約68割、ガス料金は約65割、公共施設全体では約24割の増額となっている。

小学校修学旅行キャンセル料等支援事業
中学校修学旅行キャンセル料等支援事業

Q コロナ禍での保護者の参加意向とキャンセル料の算出方法は。

A 保護者全体の85以上の参加意向により修学旅行を実施する。キャンセル料は、前日キャンセルを想定して算出した。



後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金に要する経費を補正するものです。

介護保険特別会計

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業に要する経費を補正するものです。



鶴ヶ島市交通安全議員連盟としてこんな活動もしています

令和4年11月12日、産業まつりの開催に合わせて実施された交通安全フェアに参加しました。



12月6日、冬の交通事故防止運動における街頭指導に参加しました。



（仮称）「つるの駅」構想に係る調査特別委員会を設置しました

（仮称）「つるの駅」構想に係る方向性、課題等の調査をするため、委員18人で構成する「（仮称）「つるの駅」構想に係る調査特別委員会」を設置しました。委員長は金泉婦貴子委員、副委員長は出雲敏太郎委員です。12月22日の特別委員会では、（仮称）「つるの駅」構想について審査し、現地視察も行いました。今後も、必要に応じて調査を行います。



（仮称）「つるの駅」構想とは

鶴ヶ島グリーンパークから運動公園にかけての区域に、幹線道路の整備に伴う交通便利性の向上を活かして、食をテーマとする企業誘致により活気と賑わい、憩いの拠点を創出するもの。



現地視察の様子

次回定例会のお知らせ

次回の令和5年第1回定例会は、2月21日(火)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>



鶴ヶ島市議会

検索



《請願書書式例》

（表紙）

〇〇〇〇に関する請願書

請願者 住所 〇〇〇〇
氏名(請願者(代表者)の署名)
(外〇〇人)

紹介議員 (署名)

（内容）

- 1 件名 〇〇〇〇に関する請願
- 2 要旨 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 3 理由 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

上記のとおり地方自治法第124条の規定により、請願します。

令和〇年〇月〇日

鶴ヶ島市議会議長 〇〇〇〇 様

住所 〇〇〇〇
氏名 (請願者(代表者)の署名)
(外〇〇人)

※請願者が複数の場合は、署名簿を添えてください。

請願者による意見陳述の試行も行っています。



請願や陳情は、皆さんの要望を直接政治に反映させる方法の一つです。

- 1 請願には、紹介議員として1人以上の市議会議員の署名が必要です。紹介議員がない場合は、請願ではなく、陳情となります。
- 2 件名、要旨、理由を簡潔に記載してください。
- 3 提出年月日、請願者の住所（法人の場合は所在地と名称）を記載し、請願者（法人の場合は代表者）が署名してください。
- 4 複数人で請願を出す場合は、代表者を1人決めて(外〇〇人)と記載してください。
- 5 請願はいつでも受け付けていますが、3月・6月・9月・12月に開催される定例会ごとに期限を定めています。
- 6 陳情書は、請願書の書式に準じて作成してください。
- 7 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

書式例は議会のホームページからダウンロードできます。

ホームページはこちらから



あなたの声を市議会に

（請願・陳情の出し方を紹介します）

《署名簿の書式例》

- 1 件名 〇〇〇〇に関する請願
- 2 要旨 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 3 理由 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

上記のとおり地方自治法第124条の規定により、請願します。

鶴ヶ島市議会議長 〇〇〇〇 様
署名欄

住	所	氏	名

視察・研修 報告



圏央鶴ヶ島IC周辺を視察

令和4年12月22日に圏央鶴ヶ島ICのフルインター化の整備の状況を視察しました。
 工事責任者の方から、4年12月9日に一般国道407号線から首都圏中央連絡自動車道圏央鶴ヶ島ICまでの通行経路が幅側の車線へ変更となったことや、一般国道407号線から鶴ヶ島運動公園先の市道927-2号線（鶴ヶ島南通り線）までの区間の4車線化の整備の完了予定などの詳細な説明を受けました。



学校給食に関する申入れを行いました

鶴ヶ島市学校給食センター運営委員会より、5年度以降の学校給食費を平成26年度と比較して10割から12割程度引き上げるとの答申があったため、4年12月13日及び20日に、市長及び教育長に対し、次の通り申入れを行いました。

- 1 学校給食費の引き上げに対し保護者負担を現状のまま据え置くこと。
- 2 今後保護者負担を引き上げる際には、事前に議会と協議の場を設けること。



ネットで生中継

本会議と常任委員会の様子をインターネットで生中継しています。
 ぜひ、御覧ください。



議会インターネット配信の画面

Twitter

迅速に議会の動きを伝えるため、情報発信をしています。



@tsuru_shigikai
https://twitter.com/tsuru_shigikai



今回取材した
ラジオ体操連絡会のメンバー
会長 末成 隆子
副会長 青木 多恵子
副会長 北堀 尚美



市民・団体 インタビュー

鶴ヶ島市
ラジオ体操連絡会



市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

平成15年に設立された「鶴ヶ島市ラジオ体操連絡会」。自治会やご近所の方が集まって、ラジオ体操を行う団体ができ、現在は29会場で行われています。令和4年11月9日(水)に鶴ヶ島市ラジオ体操連絡会の方々インタビューをしました。

●日ごろの活動から思うこと

高齢者が多いので、体調を崩す方もいて、今後縮小してしまうのではと思います。

小学生の頃から基本を学んで、きちんとしたラジオ体操をできるようになってほしいです。

夕焼け放送に、ラジオ体操の音楽を流すのはどうでしょうか。

●コミュニケーションの場

ラジオ体操を通じて知り合い、休む人がいると「どうしたのかしら」とお互いに気遣う関係ができています。

環境教育施設eコラボつるがしまで週一回開催しているグループは、体操終了後に月一回、習字やヘアカットなどを企画して、集いの場にもなっています。

●議員も一緒にラジオ体操の普及

議員が投票の時だけの遠い存在になっていました。市民からもっと議会や議員に近づいていかなければと思います。

地域の活動に参加して、いろんなところで顔を合わせるようになれば、身近になって相談もできるようになるのではないのでしょうか。

最近、小・中学校でラジオ体操

操をしなくなっています。子どもたちがラジオ体操に目を向けるように、一緒に働きかけていきたいです。



●市はボランティアをつなぐ

スポーツ大会などのイベントやつるフィットの方たち、健康に携わるボランティアの方がたくさんいるのに、つながっていないと感じています。ボランティアの横のつながりができると、よりよい取組ができると思います。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます!

編集 後記

10月及び11月に行われた小中学校の授業公開に各議員が参観させて頂きました。コロナ禍の中、各種学校行事が中止・延期され、制約が付きまとう児童・生徒さんが前向きに楽しく学習する姿に「まを元気にするちから」を感じました。

第4回定例会では、15人の議員が一般質問で登壇しました。多岐にわたる課題に対し、市民の皆様の声を伺うために広報広聴委員会はこれからも議会と市民の皆様と交流を進めてまいります。

(広報広聴委員)

- 委員長 大野 洋子
- 副委員長 内野 嘉広
- 委員 松尾 孝彦
- 委員 小林 ひとみ
- 委員 太田 忠芳
- 委員 石塚 節子
- 委員 持田 靖明
- 委員 杉田 恭之

(松)